

海老取川防潮堤耐震補強工事（その206）のお知らせ

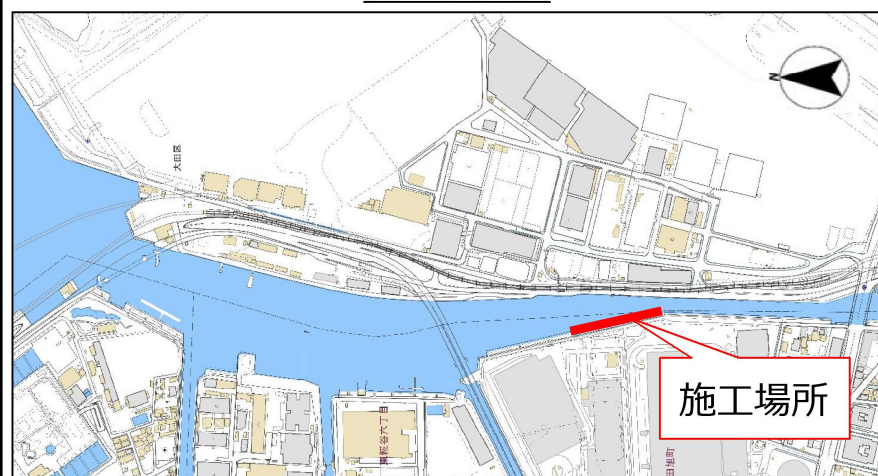
週休2日制確保工事

東京都では東日本大震災を踏まえ、これまで想定してきた地震に加えて、**将来にわたって考えられる最大級の地震**が発生した場合においても、津波等による浸水被害を防ぐことのできる耐震対策を進めています。

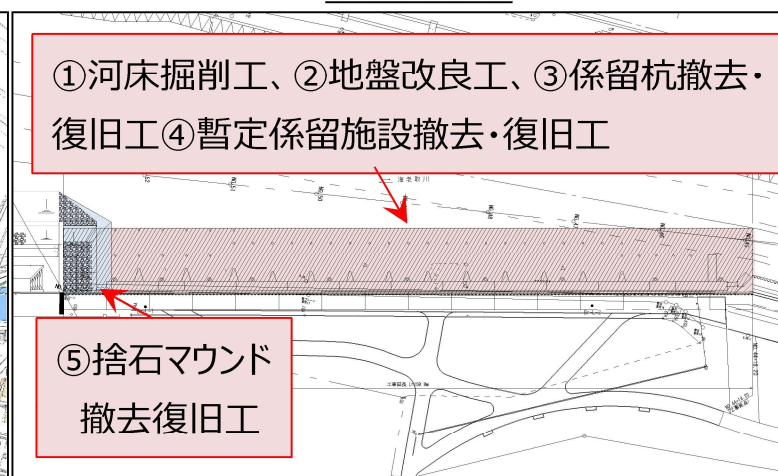
本工事では海老取川の河床への地盤改良等による耐震対策事業を行います。

★最大級の地震にも負けない堤防づくり★

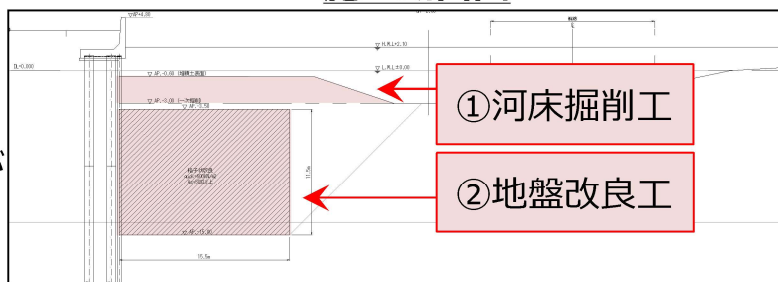
施工位置図



施工平面図



施工断面図



工事件名 海老取川防潮堤耐震補強工事（その206）

工事場所 東京都大田区羽田旭町地内外1か所

工事期間 令和7年1月下旬～令和8年2月中旬（予定）

※原則として、土・日・祝祭日は作業を行いませんが
気象状況に応じて土曜日・祝祭日の作業を行わ
せて頂く場合があります。

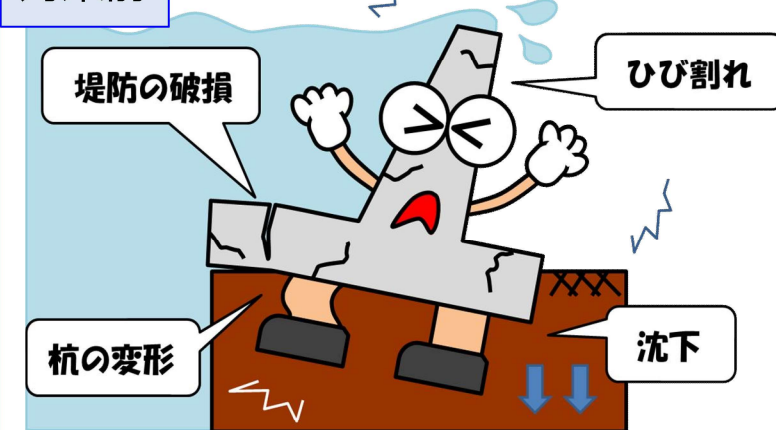
作業時間 午前8時00分～午後6時00分（通常）

※工事内容により午後7時00分まで作業させて頂く場合があります。

工事内容 施工延長 159.9mにおいて下記の工事を行い、防潮堤の耐震性を向上します。

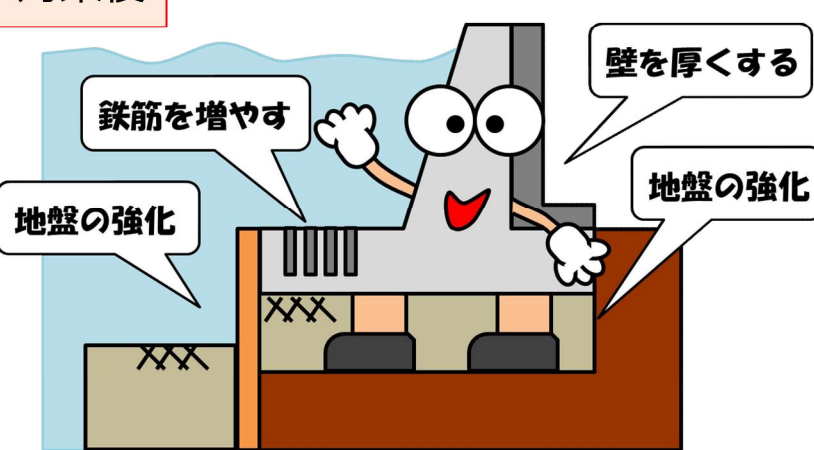
- ①河川土工 10,800m³・・・水中部の土砂を掘削、撤去します。
- ②地盤改良工 2,460m²・・・地中にセメントを混ぜ、地盤を補強します。
- ③係留杭撤去・復旧工 71本・・・工事に支障となる構造物を一時撤去し、工事完了前に復旧します。
- ④暫定係留施設撤去・復旧工 150m・・・工事に支障となる構造物を一時撤去し、工事完了前に復旧します。
- ⑤捨石マウンド撤去・復旧工 201m³・・・工事に支障となる構造物を一時撤去し、工事完了前に復旧します。

対策前



最大級の地震が発生した場合には、液状化による護岸の沈下や護岸本体及び基礎杭の損傷が発生する恐れがあります。

対策後



地盤改良等の対策により、最大級の地震が発生した場合にも、浸水被害を防ぐことが可能になります！

お気づきの点は、下記までご連絡ください。

受注者 若築建設株式会社 海老取川作業所

現場代理人 若菜 誉生

監理技術者 日笠山 大士

TEL03-6423-7712

発注者 東京都建設局 第二建設事務所 工事第二課

TEL03-3774-9010